

千葉大学病院にて敗血症で入院された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年3月27日
救急科・集中治療部

現在、救急科・集中治療部では、ビッグデータを用いた敗血症患者の疫学研究を行っています。このシステムが実用化されれば、診療補助に有用となり、今後の患者さんの治療に役立つものと考えられます。本研究では、ICUに入室した患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2011年1月1日～2026年3月31日の間に敗血症で入院された方

1. 研究課題名

「ビッグデータを用いた敗血症患者の疫学研究」

2. 研究期間

2023年承認日～2026年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

目的：医療ビッグデータを統合して新たな敗血症患者のデータベースを構築し、診断精度や治療成績の検証を行うことを目的とします。本研究により、新たな疫学データの報告や新規治療法の開発にも寄与する可能性があります。

方法：2011年1月1日から2026年3月31日までの間に当ICUに入院した患者情報をもとに敗血症患者を抽出して、新たな敗血症データベースを構築します。そして、構築したデータベースを用いて診断精度や治療成績の検証を行います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録に記載されている身長、体重、病歴、血液検査値、治療内容、診療情報等

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究責任者：救急科・集中治療部 教授 中田孝明

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学講座(医学部本館8階)の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院 救急科・集中治療部

医師 大網 毅彦

043(222)7171 内線6365